Marshall

Broadcast A/V Division

CV228

Lipstick HD Camera

3G/HD-SDI



Operation Guide

日本語版

目次

1. はじめに 3

2. メニュー構成 4

3. WB CONTROL 5

4. AE CONTROL 6

5. BACK LIGHT 7

6. IMAGE STABILIZER 8

7. IMAGE CONTROL 8

8. DISPLAY CONTROL 9

9. RESET 10

10. トラブルシューティング 11

保証 12

1. はじめに

マーシャルミニチュアまたはコンパクトカメラをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

マーシャルカメラチームは、オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニュー、ブレークアウトケーブルの操作、設定調整の説明、トラブルシューティング、およびその他の重要な情報を深く理解するために、このガイドをよく読むことをお勧めします。

特徴

CV228 カメラは、IP67 定格の CAP を備えた全天候型のボディを使用しており、取り外し(反時計回りに回転)して M12 レンズを表示し、レンズマウント上のレンズのファインフォーカス位置を調整するために回転させることもできます。 また、特定の焦点距離を含む他の M12 レンズと交換して、AOV を変更することもできます。

各カメラは、デフォルトで 1920x1080p @ 30fps に設定されており、OSD メニューでさまざまな解像度とフレームレートに変更できます。

カメラをデフォルト設定(1920x1080p30fps)にリセットするには、カメラの電源を入れ直し、OSD ジョイスティックで次のコンボを使用します:上、下、次にジョイスティックを 5 秒間押し続けてから放します。

内容物

製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は、取扱店まですぐにご連絡下さい。

番号	品 名	数量
1	CV228 本体(ブレイクアウトケーブル付きカメラ 電源/ RS485 /SDI)	1
2	DC12V 2A AC アダプター	1
3	取扱説明書(本書)	1

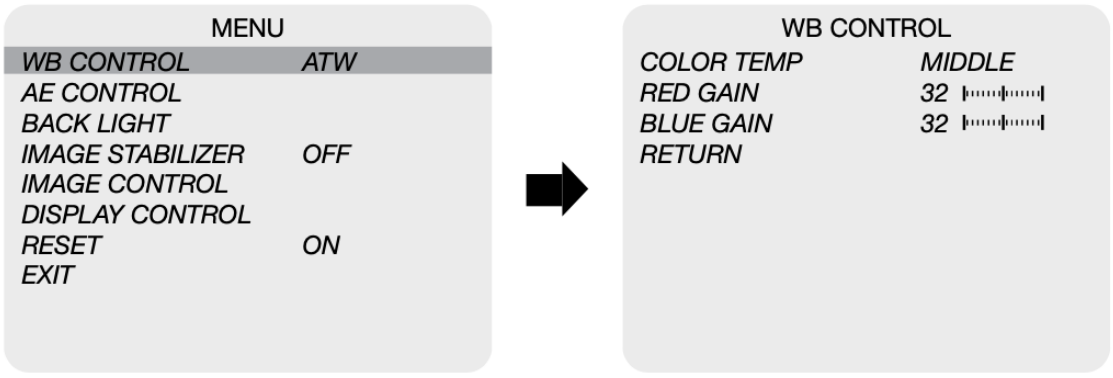
2. メニュー構成

Setup	Sub Menu	Sub Menu	
WB CONTROL	AUTO		
	ATW		
	PUSH		
	MANUAL	COLOR TEMPERATURE	
		RED GAIN	
		BLUE GAIN	
AE CONTROL(EXPOSURE)	AUTO	BRIGHTNESS	0～20
	MANUAL	AGC LIMIT	0～20
	SHUTTER	SHUTTER	NORMAL
	FLICKERLESS		DEBLUR
		DSS	OFF,X2～32
BACK LIGHT	BACK LIGHT	WDR	
		BLC	
		SPOT	
	ACE	LOW,MIDDLE HIGH	
	ECLIPSE	LEVEL	
		COLOR	
IMAGE STABILIZER	RANGE	10%,20%,30%	
	FILTER	LOW,MIDDLE HIGH	
	AUTO C	OFF,HALF,FULL	
IMAGE CONTROL	COLOR LEVEL	0～20	
	SHAPNESS	0～20	
	MIRROR	ON,OFF	
	FLIP	ON,OFF	
	D-ZOOM	1.0X～16.0X	
	DEFOG	AUTO	
		MANUAL	
	DNR	OFF,LOW,MIDDLE,HIGH	
	MOTION	DET WINDOW	
		SENSITIVITY	0～20
		MOSTION OSD	ON,OFF
	SHADING	0～100%	
	BLACK LEVEL	0～32	
	GAMMA	0.3～0.8	
	FRAME RATE		

Setup	Sub Menu	Sub Menu
DISPLAY CONTROL	CAM VERSION	
	CAM TITLE	
	PRIVACY	
	CAM ID	0~255
	BAUDRATE	2400~115200
	LANGUAGE	ENG,CHN
	DEFECT DET	
RESET	ON/CHANGE	USER/FACTORY
EXIT		

3. WB CONTROL

UP または DOWN ボタンを使用して WB CONTROL を選択します。 LEFT ボタンまたは RIGHT ボタンを使用して、AUTO、ATW、PUSH、および MANUAL を切り替えることができます。



- AUTO:光源の色温度を 3,000～8,000° K に自動調整します。
- ATW:色温度の変化に応じてカメラのカラーバランスを継続的に調整します。1,900～11,000° K の範囲内の色温度変化を補正します。
- PUSH:色温度は、OSD ボタンを押すことで手動で調整されます。 最適な結果を得るには、OSD ボタンを押したときに白い紙をカメラの前に置きます。
- MANUAL:この微調整ホワイトバランスを手動で選択します。 青と赤のトーンレベルは手動で調整できます。
  - **色温度**:色温度を LOW、MIDDLE、または HIGH から選択します。
  - BLUE GAIN:画像の青のトーンを調整します。
  - RED GAIN:画像の赤のトーンを調整します。

手動モードに切り替える前に、まず AUTO モード、または ATW モードを使用してホワイトバランスを調整します。

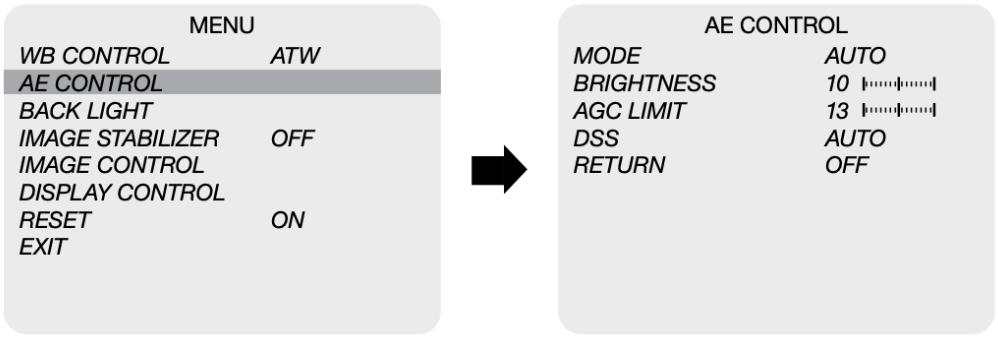
以下の条件では、ホワイトバランスが正常に動作しない場合があります。 この場合、ATW モードを選択してください。

- 被写体の周囲の照明が暗いとき。

- カメラを蛍光灯に向けたり、照明が大きく変化する場所に設置したりすると、ホワイトバランスの動作が不安定になる場合があります。

4. AE CONTROL

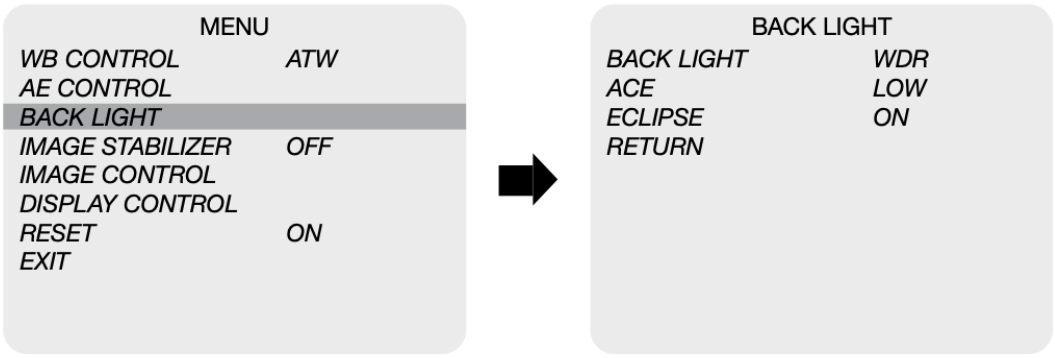
UP または DOWN ボタンを使用して AE CONTROL を選択します。 サブメニューから、AUTO、MANUAL、SHUTTER、FLICKERLESS モードを選択できます。



- MODE：希望の露出モードを選択します。
  - AUTO：露出レベルは自動的に制御されます。
  - MANUAL：明るさ、ゲイン、シャッター、DSS を手動で調整します。
  - SHUTTER：シャッターは手動で設定でき、DSS は自動的に制御されます。
  - FLICKERLESS：シャッターと DSS は自動的に制御されます。
- BRIGHTNESS：明るさのレベルを調整します。
- AGC LIMIT：照明が使用可能なレベルを下回った場合に、増幅/ゲインプロセスを自動的に制御します。カメラは、暗い条件下でゲインを選択したゲイン制限まで上げます。
- SHUTTER：シャッタースピードを制御します。
- DSS：輝度条件が低い場合、DSS は光のレベル。 遅いシャッタースピードは 32 倍に制限されています。

5. BACK LIGHT

UP ボタンまたは DOWN ボタンを使用して BACK LIGHT を選択します。 サブメニューから BACK LIGHT、ACE、ECLIPSE モードを選択できます。

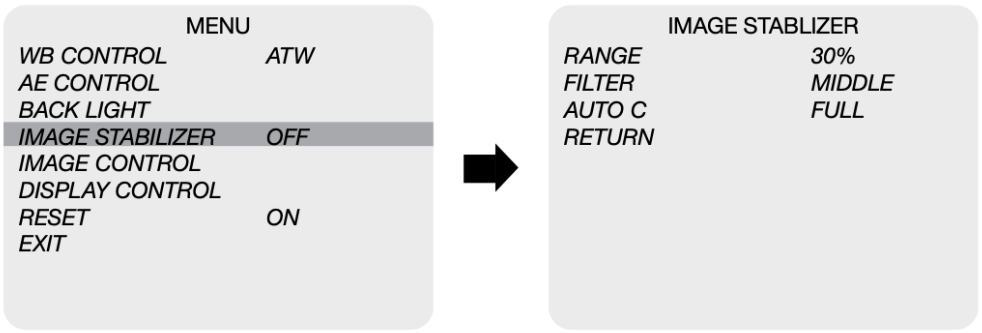


- BACK LIGHT：カメラが画像全体の露出を調整して、前景の被写体を適切に露出できるようにします。
  - WDR：背景が明るすぎる場合に、ユーザーがオブジェクトと背景の両方をより明確に表示できるようにします。
  - BLC：バックライト補正機能を有効にします。
  - SPOT：背景が明るすぎる場合に、ユーザーが画像上の目的の領域を選択して、その領域をより明確に表示できるようにします。
- ACE：暗い画像領域の明るさ補正。
- ECLIPSE：選択した色のマスキングボックスで明るい領域を強調表示します。

6. IMAGE STABILIZER

UP ボタンまたは DOWN ボタンを使用して、IMAGE STABILIZER(画像安定装置)を選択します。

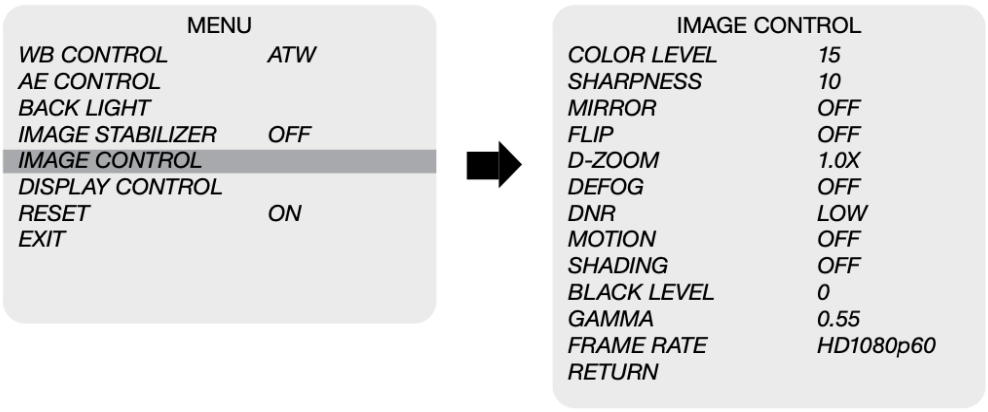
サブメニューから RANGE、FILTER、AUTOC を選択できます。



- IMAGE STABILIZER:握手やカメラの動きによる振動による画像のブレを軽減します。 シフトされたピクセルを補正するために、画像がデジタルでズームインされます。
  - RENGE:画像安定化のためにデジタルズームレベルを設定します。 最大 30%= x1.4 デジタルズーム。
  - FILTER:画像の最悪の場合の補正ホールドフィルタのレベルを選択します。 High=少ない修正。
  - AUTO C:振動の種類に応じて画像の自動センタリングレベルを選択します。
    Full=重度の振動、Half=軽度の振動。

7. IMAGE CONTROL

UP ボタンまたは DOWN ボタンを使用して IMAGE CONTROL(画像制御)を選択します。 サブメニューからすべての画像関連機能を調整できます。



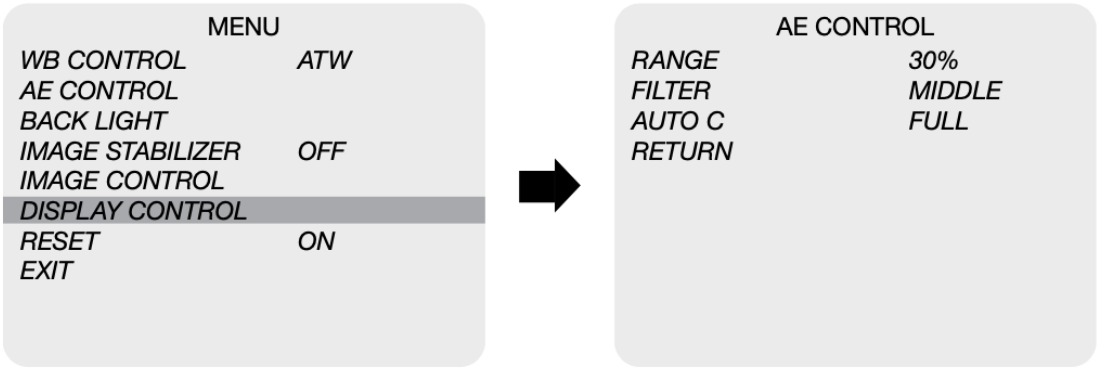
- COLOR LEVEL:カラーレベルの値を調整して、微調整します。
- SHARPNESS:画像のシャープネスを調整して、滑らかなまたはシャープなエッジ表現を実現します。
- MIRROR:ビデオ出力が水平方向に回転します。
- FLIP:ビデオ出力は垂直方向に回転します。
- D-ZOOM:ビデオ出力を最大 16 倍までデジタルズームします。
- DEFOG:霧、雨、または非常に強い光度などの極端な気象条件での視認性を向上させます。

- DNR:周囲光が少ないときのビデオノイズを低減します。
- MOTION:サブメニューで事前設定されたモーションゾーンと感度によってオブジェクトの動きを観察します。 動き検知アイコンを表示できます。
- SHADING:画像の一貫性のない輝度レベルを修正します。
- BLACK LEVEL:ビデオ出力の黒レベルを 33 段階で調整します。
- GAMMA:ビデオ出力のガンマレベルを 33 段階で調整します。
- FRAME RATE:ビデオ出力の仕様を変更します。

LEFT または RIGHT ボタンを使用してフレームレートを選択します。 利用可能なフレームレートは次のとおりです。 720p25、720p29(720p29.97)、720p30、720p50、720p60、1080p25、1080p30、1080i50、1080i60、1080p50、1080p60。 720p59(720p59.94)、1080p29(1080p29.97)、1080i59(1080i59.94)、および 1080p59(1080p59.94)

8. DISPLAY CONTROL

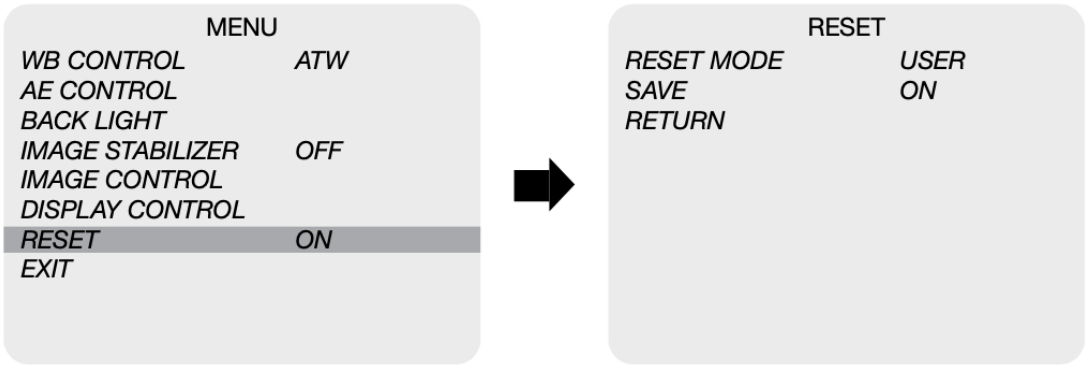
UP ボタンまたは DOWN ボタンを使用して、IMAGE STABILIZER(画像安定装置)を選択します。 サブメニューから RANGE、FILTER、AUTO C を選択できます。



- CAM VERSION:カメラのファームウェアバージョンを表示します。
- CAN TITLE:カメラのタイトルは仮想キーボードを使用して入力できます。
- PRIVACY:画面上で非表示にする領域にマスクをします。
- CAM ID:0～255 のカメラ ID 番号を選択します。
- BAUDRATE:RS-485 通信のカメラボーレートを設定します。
- LANGUAG:英語または中国語の OSD メニューを選択します。
- DEFECT DET:しきい値を調整してアクティブピクセルを調整します。 このメニューをアクティブにする前に、カメラのレンズを完全に覆う必要があります。

9. RESET

UP または DOWN ボタンを使用して RESET を選択します。 設定を FACTORY または USER で保存した設定にリセットできます。 LEFT または RIGHT ボタンを使用して、ON または CHANGE を選択します。



- **ON**:カメラのリセット設定を、CHANGE メニューから定義された FACTORY または USER の保存設定に設定します。カメラをリセットする前に、必ず正しいモードを選択してください。
- **CHANGE**:リセットモードを変更するか、現在の設定をユーザーとして保存します。
  - **FACTORY**:工場出荷時のデフォルト設定が必要な場合は、FACTORY を選択します。 フレームレート、CAM ID、およびボーレートは変更されません。
  - **USER**:ユーザーが保存した設定をロードする必要がある場合は、USER を選択します。
  - **SAVE**:現在の設定をユーザーが保存した設定として保存します。

10. トラブルシューティング

問題	ソリューション
画面には何も表示されない。	a.接続されているすべてのデバイスの電源がオンになっていることを確認します。 b.電圧が正しいことを確認してください。 c.カメラの電源装置が電力を供給するのに十分な電流を供給していることを確認します。 d.すべてのビデオケーブルが正しく接続されていることを確認します。
映像がはっきり映ってない。	a.モニターが正しく調整されていることを確認してください。 b.レンズ前面のガラスが汚れていないことを確認してください。ガラスにホコリ、汚れ、指紋などが付着すると、画質に影響を与えます。ガラスをクリーニングするには、柔らかく、乾いた、研磨性のない布、または市販のレンズクリーニングセットを使用します。 c.フォーカスを正しく調整してください。
映像が何かに干渉している。	a.カメラが発電機などの高電圧源の近くにある可能性があります。 b.BNC ケーブルが正しく終端されていせん。 c.ビデオケーブルが正しく接続されていません。
画像がちらつき続けている。	a.終端を確認し、インピーダンスを 75Ωに正しく設定してください。 b.カメラが太陽や光の方を向いていないことを確認してください。 c.中間デバイスがあるかどうかを確認します。 d.ビデオケーブルの距離が最大値を超えていないか確認してください。
カメラが基準信号と同期していない。	a.Tri-Level 基準信号が使用されていることを確認してください。 b.信号強度にもよりますが、ロックには最大 1 分かかります。同期 LED が点灯していることを確認してください。 c. リファレンス同期に使用されているケーブルとコネクタに問題がないか確認してください。 d.リファレンス同期で使用されるケーブル長が 30.5mを超えないことを確認してください。 e.genlock 出力を使用するときは、OUTPUT EN がオンになっていることを確認してください。
フォーカス	カメラに取り付けられているレンズは最適な焦点位置に設定されていますが、レンズの焦点が少しずれている場合は、レンズを時計回りまたは反時計回りに少し回転させて微調整します。 目的のフォーカスポイントに到達したら、ロックナットをカメラに向かって回転させて戻します。これにより、レンズの位置が最適なフォーカスポイントに保持されます。

保証

Marshall　CV228 は、通常の使用条件下でご使用ください。

ご購入日から 1 年間は無償修理保証の対象となります。
この保証はご購入者様のみに適用され、無償修理保証を依頼する場合には販売店へご連絡ください。
シリアル番号が不明な場合、修理をお受けできない場合がございます。
この保証は、製品の外装や装飾品には適用されません。設計または構造の誤用、異常な取り扱い、変更または修正は、この保証を無効にします。販売者またはその他の販売員の販売担当者は、上記以外の保証を行うこと、または上記の期間を超えて、マーシャルエレクトロニクスに代わって保証期間を延長することはできません。
製品および製品の機能を常に改善するための努力により、仕様は予告なしに変更される場合があります。
保証期間内でも以下の場合は有償修理または、修理をお受けできない場合がございます。
誤った使用方法や、不当な修理、改造等を行っていた場合。またそれによって生じた故障、損傷。
落下などによる故障、損傷。
火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
無償保証修理は日本国内においてのみ有効です。

日本国内販売/サポート

Marshall
BROADCAST & PRO AV

株式会社 M&I next　Marshall 事業部
〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210
TEL：045－415－0203 FAX：045－415－0255
https://marshall-japan.com/
contact@minext.jp

2023 年 11 月 30 日